

新学術 "宇宙の歴史をひもとく地下素粒子原子核研究" 内
 B02 班 (低バックグラウンド技術を応用した方向感度をもつ暗黒物質探索の基礎研究)
 第 10 回若手研究会

2018 年 1 月 26 日(金)-27 日(土) 於 大阪大学

- 参加者数：13 名
- 参加機関：大阪大学、神戸大学、名古屋大学、早稲田大学、東京大学

Program

1 月 26 日(金) 13:30~		1 月 27 日(土) 10:00~	
これまでの神戸大学の 取り組み	身内 賢太郎 (神戸大学)	トピカルセッション「キャリブレーション」	
これまでの名古屋大学の 取り組み	中 竜大 (名古屋大学)	中性子 Calibration Try (ANKOK : 252Cf ToF の場合)	木村真人 (早稲田大学)
これまでの早稲田大学の 取り組み	田中 雅士 (早稲田大学)	原子核乾板を用いた中性子 測定の前研究と study	轟 祈 (名古屋大学)
これまでの大阪大学の 取り組み	吉田 齊 (大阪大学)	Modulated X-ray Source (MXS)	池田智法 (神戸大学)
中性子測定 方法と測定結果	水越 慧太 (大阪大学)	中性子測定 前日の疑問点 議論 論文議論	水越 慧太 (大阪大学)
中性子測定 解析と議論	水越 慧太 (大阪大学)		

第 10 回目となる今回の B02 班若手研究会は、各機関のこれまでの取り組みのまとめや、水越氏が中心となってまとめている神岡地下中性子測定の論文についての話し合い、そして「キャリブレーション」をテーマとしたトピカルセッションが行われた。各機関のこれまでの取り組みのまとめでは、各機関が今までにやってきた中性子測定の取り組みについて発表が行われた。神岡地下中性子測定の論文についての話し合いでは、論文化に向けての方法と結果の確認や、解析結果についての議論、論文化に向けてこれから行うことについて話し合われた。トピカルセッションでは、キャリブレーションをテーマとして各グループで行っているキャリブレーションの取り組み・状況についての発表が行われた。また、1 日目夜に大阪大学近くで懇親会を行い、セッションの外でも親睦を深めた。

